

I 次の文章 A～B を読み、下の問 1～9 に答えなさい。答えはすべてマークシートに記入しなさい。

A 古代ローマでは五賢帝の時代、「ローマの平和」(パクス・ロマーナ)と呼ばれる安定した 200 年があった。占領した地域は属州として⁽¹⁾ 帝国に組み入れ統治していた。

しかし 3 世紀になると、東部でそれまで係争を続けてきたパルティアを滅ぼしたササン朝ペルシア⁽²⁾ の新たな脅威と、北方からの諸民族の侵入に悩まされ、不安定な軍人皇帝の時代となった。[3]は巨大化した帝国の統治を徹底化するために、帝国を東と西に分けさらに各々に正帝と副帝を置いた四帝分治制を導入した。これには皇帝の継承争いをなくす期待もあった。しかし帝の死の直後から後継争いが起り、コンスタンティヌス大帝の単独体制が生まれた。大帝は東に新たな都コンスタンティノープルを建造した。

問 1 下線部 (1) について以下の現在の国々のうち、ローマの属州に入らないものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を[1]にマークしなさい。

- ① ポーランド ② クロアチア ③ エジプト ④ シリア ⑤ スペイン

問 2 下線部 (2) の王朝の建国の祖アルダシール 1 世が国教とした宗教として適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を[2]にマークしなさい。

- ① マニ教 ② キリスト教 (ネストリウス派)
③ キリスト教 (アリウス派) ④ ゴロアスター教 ⑤ ユダヤ教

問 3 空欄 [3]に入るローマ皇帝の名前として適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を[3]にマークしなさい。

- ① トラヤヌス ② ユリアヌス ③ オクタウィアヌス
④ マルクス・アウレリウス ⑤ デイオクレティアヌス

B 4 世紀中頃、黒海北部で勢力を増したフン族に圧迫された [(a)] たちがローマに保護を求めてきた。ローマ側は定住を認めたが、待遇に不満を持った [(a)] たちは反乱を起こす。鎮圧に向かったローマ軍はこれに大敗し、東ローマの皇帝は戦死してしまう。テオドシウス帝は [(a)] に一定の自治権を与え、定住を認めた。テオドシウス帝の死後、帝国は二人の息子によって東西に分断された。テオドシウス帝時代の軍事的貢献への対価に不満を抱く [(a)] はギリシア各地を荒らし、属州の総司令官に任命されても収まらずローマの略奪にまで至った。東ローマ皇帝は同盟軍として自治権とガリア (現在のフランス) 定住を認めた。つまり西へ追い払ったのだ (418 年)。こうして [(a)] はガリアへ移動していった。

〔a〕が東部で暴れていた 5 世紀の初め別の集団がドナウ河を渡り帝国に侵入してきた。それに対応すべくローマ軍が移動すると手薄になったライン河方面から、これらとは別のゲルマン系集団〔b〕やブルグンド人が次々とガリアに侵入してくる。特に〔b〕はその後北アフリカまで進んでいった。さらにブリタニア（現在のイギリス）では皇帝を僭称する者が現れ、ガリアに侵入してくる。

こうしたガリアの混乱のなかで、以前よりライン下流域に定住し、ローマ軍とともに活動していたゲルマン系〔c〕はガリアへ進出し同盟国と認められる。ガリアは西ローマ軍、定住を始めたゲルマン系部族の混在する地域となった。そこにフン族を中心にした混成集団が侵入してくる。この強敵に対してローマ・ゲルマン連合軍は〔 4 〕の戦いで勝利して脅威を排除した。機能しない西ローマ皇帝を廃位したオドアケルは、東ローマ皇帝からイタリア統治を認められた。しかし東ローマで力を持つゴート人の王〔5〕に皇帝はオドアケル排除を命じ成功すれば、イタリア統治権を与えると約束する。こうして東ゴート王国がイタリアに誕生する。この王はゲルマン系諸族が建てた国々の王たちと婚姻関係を結び、ゲルマン系諸国との連携を強めた。しかし〔c〕はクローヴィス〔6〕が王となると南下してブルグンドを併合し〔a〕をイベリア半島に追いやるなどしてガリアの強国となった。その後東ローマ皇帝〔 7 〕は、帝国の再建を目指して北アフリカの〔b〕と東ゴート王国を滅ぼして、カルタゴとラヴェンナに総督府を設置した。しかし皇帝の死後ほどなくしてイタリアにはゲルマン系のランゴバルト〔8〕人が侵入し、北部と中部に王国を建てた。

問4 空欄の〔a〕～〔c〕にそれぞれ共通するゲルマン系の民族名として適切なものを①～⑤のうちから一つずつ選び、〔a〕の解答を〔4〕に、〔b〕の解答を〔5〕に、〔c〕の解答を〔6〕マークしなさい。

- ① ケルト人 ② 西ゴート人 ③ フランク人 ④ アヴァール人
- ⑤ ヴァンダル人

問5 空欄〔 4 〕に入る、フン族に勝利した戦いとして適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を〔7〕にマークしなさい。

- ① トゥール・ポワティエ間 ② カタラウヌム ③ ワールシュタット
- ④ クレシー ⑤ レヒフェルト

問6 下線部（5）についてその時のゴート王の名前として適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を〔8〕にマークしなさい。

- ① クヌート ② アルフレッド ③ テオドリック ④ ストラボン
- ⑤ エピクテトス

問7 下線部(6)について、クローヴィスが統治した王朝名で適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を[9]にマークしなさい。

- ① カロリング ② メロヴィング ③ ノルマン ④ マタラム ⑤ カペー

問8 空欄[7]に入る適切な東ローマ皇帝を選びなさい。適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を[10]にマークしなさい。

- ① ホノリウス ② レオン3世 ③ グレゴリウス1世 ④ ユスティニアヌス
⑤ アルカディウス

問9 下線部(8)について、ランゴバルト王国を征服した王を選びなさい。適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その解答を[11]にマークしなさい。

- ① ピピン ② オットー1世 ③ カール大帝 ④ ウィリアム1世
⑤ ルートヴィヒ1世

Ⅱ 次の文章 A～B を読み、下の問10～20に答えなさい。答えはすべてマークシートに記入しなさい。

A. ウクライナの海岸都市オデーサが面した黒海は19世紀半ばに、クリミア戦争の舞台となった。ロシアのニコライ1世はオスマン帝国領内のギリシア正教徒の保護を理由に宣戦布告をしたが、オスマン帝国を支援したイギリス・フランスの参戦後に敗れた。1856年には黒海の中立化などを取り決めた[1]条約が結ばれた。クリミア戦争のあとヨーロッパ諸国の共同行動がとられることは久しくなかった。しかし1873年にロシアが(a)を(b)と結ぶと、ヨーロッパ列強は複雑な利害交渉のために動きだした。

黒海沿岸国が次に戦場となったのは、1877年のロシア＝トルコ戦争(露土戦争)である。ボスニア・ヘルツェゴビナに続いてブルガリア人がオスマン帝国領内で決起し(2)、これに介入したロシアが勝利したため、一時はブルガリアがその占領を受けた。しかしロシアの勢力拡大への反発により、各国の利害調整を目的とした[3]会議が1878年に開かれた。この結果、ロシア下にあったブルガリア公国はかえって領土を縮小された上でオスマン帝国の宗主権下にもどされた。さらに、その隣のマケドニア地方がオスマン帝国へ返還された一方、いくつかの地域が独立した(4)。ロシアの南下政策の牽制をもくろむ「ビスマルク体制」のもと、東方問題はますます複雑化していった。

問10 空欄の[1]に当てはまる条約の名称について、適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、その記号を[12]にマークしなさい。

- ① サン＝ステファノ講和 ② ヴェルサイユ ③ パリ ④ ウィーン
⑤ ロンドン

問11 空欄 (a) と (b) について (a) 同盟の名称と (b) 同盟相手国の組み合わせで、適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、13にマークしなさい。

- ① (a) 三国同盟- (b) イギリス・フランス
- ② (a) 三帝同盟- (b) ドイツ・オーストリア
- ③ (a) 三国同盟- (b) ドイツ・オーストリア
- ④ (a) 三帝同盟- (b) イギリス・フランス
- ⑤ (a) 三帝同盟- (b) ドイツ・イタリア

問12 下線部 (2) の内容が示す、オスマン帝国からの独立・民族の統一を目指したバルカン半島発祥の政治思想・運動の名前で、適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、14にマークしなさい。

- ① 修正主義 ② パン＝ゲルマン主義 ③ サンディカリズム
- ④ パン＝スラブ主義 ⑤ 正統主義

問13 空欄の [3] に当てはまる会議の名前で適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、15にマークしなさい。

- ① パリ講和 ② ウィーン ③ ベルリン ④ ロンドン ⑤ ワシントン

問14 下線部 (4) のベルリン条約の内容において、セルビアとモンテネグロとともに、オスマン帝国からの独立を認められた黒海沿岸国の名前で、適切なものを①～⑤のうちから一つ選び、16にマークしなさい。

- ① アルバニア ② ガリツィア ③ ルーマニア ④ タンザニア
- ⑤ ソマリア

B. 清朝領土内での鉄道敷設や鉱山採掘などの利権獲得競争といった列強による清への進出は激しく⁽⁵⁾なり、下関条約で日本が [6] を獲得すると、南進の機会をねらっていたロシアは日本に圧力を加えて、これを清に返還させた。また、フランスは 1899 年に広東省南岸に [7] を租借した。排外主義の運動が 1900 年に北京で広まったことを契機に、清朝政府は列強に宣戦布告⁽⁸⁾し、1901年に清は 11カ国と [9] に調印した。また、列強は公使館所在区防衛のため外国軍隊の [10] を認めさせた。

問15 下線部 (5) の「列強による清への進出は激しく」とあるが、そのきっかけとなった 1894年に朝鮮支配をめぐる起こった出来事は何か。適切なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、その記号を17にマークしなさい。

- ① 日清戦争 ② 日露戦争 ③ アヘン戦争 ④ アロー戦争
- ⑤ 三国干渉

問16 文中の空欄 [6] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その記号を[18]にマークしなさい。

- ① 長江流域 ② 九竜半島 ③ 山東地方 ④ 福建地方 ⑤ 遼東半島

問17 文中の空欄 [7] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その記号を[19]にマークしなさい。

- ① シベリア鉄道 ② 広州湾 ③ 東清鉄道 ④ 膠州湾 ⑤ 威海衛

問18 下線(8)の「清朝政府は列国に宣戦布告」とあるが、このきっかけとなった事件は何か。適切なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、その記号を[20]にマークしなさい。

- ① 義兵闘争 ② 辛亥革命 ③ 仇教運動 ④ 義和団事件
⑤ 江華島事件

問19 文中の空欄 [9] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その記号を[21]にマークしなさい。

- ① 日韓協約 ② 北京条約 ③ 北京議定書 ④ 南京条約 ⑤ イリ条約

問20 文中の空欄 [10] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その記号を[22]にマークしなさい。

- ① 北京駐屯権 ② 鉄道敷設権 ③ 鉱山採掘権 ④ 租借権 ⑤ 領有権

Ⅲ 次の大問A～Cの文章を読み、下の問21～31に答えなさい。答えはすべてマークシートに記入しなさい。

A 以下は、イタリアの統一についての記述である。

1849年にサルディーニャ王位についた [1] のもとで、自由主義者の [2] が首相となって、鉄道建設など近代的社会基盤の整備を推進した。その後、サルディーニャは [3] と密約を結んだうえで、1859年オーストリアと開戦した。この戦いに勝ったサルディーニャは [(a)] を得、翌60年、 [(b)] とニースをフランスにゆずることで中部イタリアも併合した。さらにこの年、「青年イタリア」出身の [4] が [(c)] を占領し、これをサルディーニャ王にゆずった。この結果、1861年3月にイタリア王国が成立し、 [1] が王位についた。その後、1866年にオーストリア領であった [(d)] を併合し、1870年には [(e)] も占領して国家統一が実現した。

問2 1 文中の空欄 [1] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を[2 3]にマークしなさい。

- ① ボニファティウス8世 ② バルトロメウ＝ディアス
- ③ トゥサン＝ルヴェルチュール ④ ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世
- ⑤ ヴィクトリア女王

問2 2 文中の空欄 [2] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を[2 4]にマークしなさい。

- ① カヴール ② ティエール ③ マッツイーニ ④ ディズレーリ
- ⑤ コシュート

問2 3 文中の空欄 [3] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を[2 5]にマークしなさい。

- ① タレーラン ② ナポレオン3世 ③ ルイ＝フィリップ
- ④ ヴィルヘルム1世 ⑤ アレクサンドル2世

問2 4 文中の空欄 [4] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を[2 6]にマークしなさい。

- ① カルボナリ ② テュルゴー ③ ガリバルディ ④ ムッソリーニ
- ⑤ デュナン

問2 5 文中の空欄 (a)～(e)に入る語句の組み合わせで適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を[2 7]にマークしなさい。

- ① (a) サヴォイア- (b) ロンバルディア- (c) ヴェネツィア- (d) 両シチリア王国- (e) ローマ教皇領
- ② (a) ロンバルディア- (b) サヴォイア- (c) 両シチリア王国- (d) ローマ教皇領- (e) ヴェネツィア
- ③ (a) ロンバルディア- (b) サヴォイア- (c) 両シチリア王国- (d) ヴェネツィア- (e) ローマ教皇領
- ④ (a) サヴォイア- (b) ロンバルディア- (c) 両シチリア王国- (d) ヴェネツィア- (e) ローマ教皇領
- ⑤ (a) ロンバルディア- (b) サヴォイア- (c) ヴェネツィア- (d) ローマ教皇領- (e) 両シチリア王国

B 第一次世界大戦はヨーロッパのみならず、イスラーム世界・アフリカ・アジアにも戦火を広げた。大戦は総力戦となり、参加各国の大戦前の政治・社会構造を変容させ、さらには [5] をもたらし、アメリカ合衆国の世界政治への登場を導いた。同時に、大戦が明らかにしたヨーロッパ近代の破綻は、インド・中国などを先頭に非ヨーロッパ諸地域の自立化への歩みを加速させた。

戦後、ヴェルサイユ体制 ⁽⁶⁾ とワシントン体制のもと、[7] による平和の実現が期待された。

問26 文中の空欄 [5] に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を **28** にマークしなさい。

- ① 南北戦争 ② ラテンアメリカの独立 ③ オスマン帝国の成立
- ④ 大陸封鎖令 ⑤ ロシア革命

問27 下線部 (6) のヴェルサイユ体制について 不適切な記述 を、次の①～⑤のうちから一つ選び、その記号を **29** にマークしなさい。

- ① ドイツは、すべての植民地を失い、アルザス・ロレーヌをフランスに返還した。
- ② アラビア半島でイブン＝サウードが独立し、シリアはフランスの、イラク・トランスヨルダン・パレスチナはイギリスの委任統治のもとにおかれた。
- ③ 旧オーストリア＝ハンガリーと旧ロシア帝国領から、ハンガリー・チェコスロヴァキア・ユーゴスラヴィア・フィンランド・ポーランド・エストニア・ラトヴィア・リトアニアの独立が認められた。
- ④ アメリカ合衆国・イギリス・日本・フランス・イタリアの五大国間で主力艦の保有トン数と保有比率を定めた海軍軍備制限条約が結ばれた。
- ⑤ 1919年1月、連合国代表が集まりパリ講和会議が開かれた。講和の基礎になる原則は、アメリカ合衆国のウィルソン大統領が、1918年1月に発表した十四カ条であった。

問28 文中の空欄 [7] に入る語句で適切なものを次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を **30** にマークしなさい。

- ① 国際義勇軍 ② 国際連合 ③ 国際軍事裁判所 ④ 国際連盟
- ⑤ 国際赤十字

(C 問題が次のページに続きます)

C ドイツでは、第一次世界大戦直後からドイツ共産党など革命推進勢力と社会民主党とが対立したが、社会民主党は軍部など保守勢力と結んで、1919年初め共産党をおさえこんだ。国民議会では、社会民主党の〔 8 〕が大統領に選出され、民主的な憲法(ヴァイマル憲法)が制定されて、共和国の基礎がつくられた(ヴァイマル共和国)。1923年のフランスのルール占領には不服従運動で抵抗したため、生産が低下し、激しいインフレーションがすすんだ。同年夏、首相となった〔 9 〕は、 Rentenマルクを発行してインフレーションを克服し、アメリカ合衆国の協力で賠償の支払いの緩和と資本導入に成功して (10)、経済をたて直し、国際協調外交を推進した。しかし、経済の基礎が安定しないうちに世界恐慌にみまわれると、ドイツ経済は壊滅的状况になり、国民生活や議会政治は混乱した。

問29 文中の空欄〔 8 〕に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を〔31〕にマークしなさい。

- ① ローザ＝ルクセンブルク ② エーベルト ③ カール＝リープクネヒト
④ ピウスツキ ⑤ ヒンデンプルク

問30 文中の空欄〔 9 〕に入る語句で適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を〔32〕にマークしなさい。

- ① シューマン ② シュペングラー ③ シュタイン ④ シュトレゼマン
⑤ シュリーマン

問31 下線部(10)の内容のとりきめについて適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、その番号を〔33〕にマークしなさい。

- ① フーヴァー＝モラトリウム ② マーシャル＝プラン ③ ドーズ案
④ ニューディール ⑤ ブレトン＝ウッズ国際経済体制

(世界史の問題はここまでです)